

ちよだ 区議会だより

CHIYODA CITY
ASSEMBLY NEWS

令和4年
第3回 定例会

会期：9月13日～10月19日の37日間



No.261 令和4年12月5日

編集：区議会だより編集委員会 発行：千代田区議会
〒102-8688 千代田区九段南1-2-1
☎03-5211-4297(直通) FAX 03-3288-5920

目次

- 代表質問…………… 2面
- 一般質問…………… 3～4面
- 予算・決算特別委員会…………… 5面
- 定例会活動報告…………… 6～7面
- 本会議における討論等…………… 8～9面
- 議案の審議結果等…………… 10面

トップニュース

TOP NEWS

令和3年度

千代田区各会計歳入歳出決算を認定しました

[令和3年度 千代田区各会計歳入歳出決算額]

会計	歳入	歳出	差引額
一般会計	656億8,556万2,805円	634億7,621万7,688円	22億934万5,117円
国民健康保険事業会計	70億2,221万66円	56億3,154万4,467円	13億9,066万5,599円
介護保険特別会計	44億3,035万260円	41億1,823万8,825円	3億1,211万1,435円
後期高齢者医療特別会計	18億2,413万7,295円	17億3,245万7,816円	9,167万9,479円
合計	789億6,226万426円	749億5,845万8,796円	40億380万1,630円

[3分科会での調査]

全議員で構成する決算特別委員会に審査を付託された議案は、3つの分科会で詳細な調査を行います。各分科会が調査を行う主な項目は次のとおりです。

① 企画総務分科会

議会費、環境まちづくり費、総務費、職員費、公債費、諸支出金、予備費を調査

② 地域文教分科会

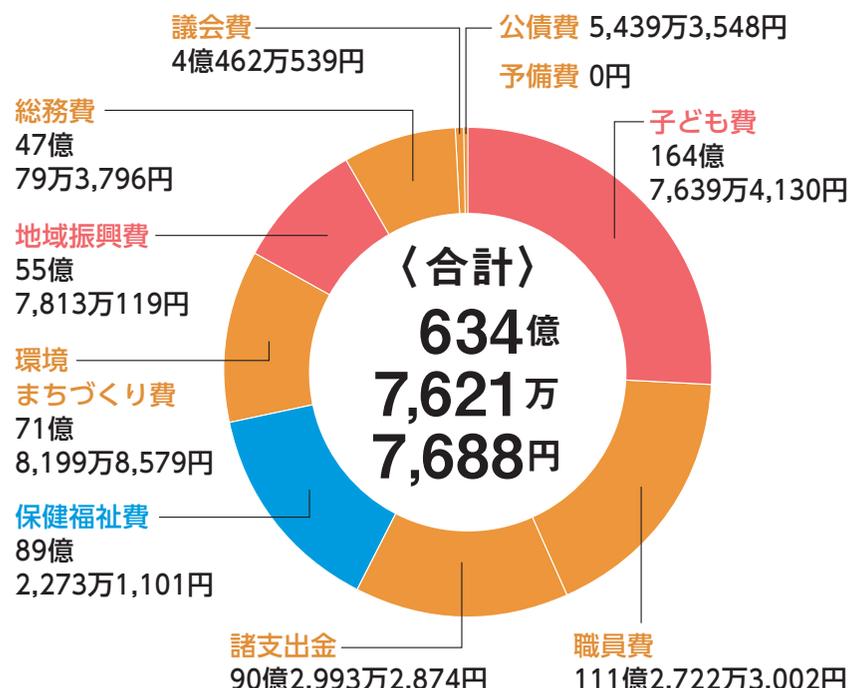
子ども費、地域振興費を調査

③ 保健福祉分科会

保健福祉費、諸支出金
国民健康保険事業会計、介護保険特別会計、
後期高齢者医療特別会計を調査



[一般会計歳出の内訳]



決算の 認定とは

予算執行が適切かつ効率的であったか、区民福祉の向上のためにどのように施策が展開された等について、議会が区の決算を審議し、認定することをいいます。千代田区議会では、次年度の予算編成に決算の審議内容を反映させるため第3回定例会で行っています。

令和4年度区民集会を開催しました

10月28日(金)に4年ぶりに区民集会を開催しました。

区民集会とは、地域が抱える諸課題を、区民と区議会が一体となって議論する場を確保することを目的に、昭和58年から続くものです。企画・運営には連合町会長8名及び区議会議員で構成する「区民集会運営協議会」があたり、区民と議会が一体となって地域の課題解決等に取り組むこのような事業は、全国的にも珍しいものです。

今年度は、お濠などの水質改善を図り、魅力ある水辺環境の再生に向けた「お濠の浄化」をテーマとして、区議会議場において開催しました。

当日は、水辺環境の向上に取り組まれており、お濠の浄化に造詣の深い、河川や水に関する諸問題の専門家である山田正氏(中央大学研究開発機構名誉教授)をお招きし、講演をいただきました。質疑応答終了後、お濠や河川の水質改善に向けた要望を関係機関に提出することを確認しました。



当日の様子(録画映像、議事録)



Q&A

代表質問 (要旨)

議員紹介は
こちらから



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

千代田区議会 自由民主党

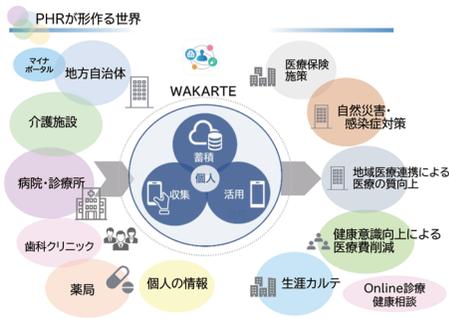
嶋崎 秀彦



DX(デジタルトランスフォーメーション)推進

問 DXで区政満足度をさらに高めるため、データの活用の観点が重要①区民健診事業のDX化を検討し推進すべき②情報漏えいのリスクも踏まえ、庁内の情報セキュリティ体制の整備は。

答 ①都健康長寿医療センターと連携開始。また、歯科医師会と連携研究に取り組む②監査や研修見直し等、さらなる対策に努める。



地域に寄り添ったまちづくりルールの構築

問 ①まちづくりは長期的なものである。事業者が検討内容を継承し、建築後一定期間は運営する制度を設けては②住み働き学ぶ方たちの声に耳を傾け寄り添い、事業者とも手を取り合う制度構築は。

答 ①今後、制度の構築を検討する②多様な意見交換をし、合意形成を進める仕組み「まちづくりプラットフォーム」を検討中。

決算を分析し、新年度予算編成へ生かす

問 ①約7分の1が未執行だった決算の内容分析を②区は基本構想の下での基本計画を策定しない方針。計画性の担保は③行政評価で事業進捗や成果等を評価し、透明性の担保や運営改善が必要。

答 ①感染症対策で結果的に不用額となった。要因を検証し新年度予算へ適切に反映②中期的取組方針を定め、機動的かつ計画的に実行③諸課題に対応した簡素で効果的な新手法の確立に取り組む。

日本共産党区議団

木村 正明



物価高から小規模事業者を守る

問 物価高騰とコロナ禍のダブルパンチで厳しい状況にある小規模事業者に対し、区独自に家賃などの固定費補助を検討すべき。

答 中小企業診断士による無料の相談窓口設置や、事業者の新たな取り組みに対する経費補助「チャレンジ・チェンジ小口応援補助金」によって地元の身近な相談窓口として、支援を継続する。

子どもを生き育てやすい社会に

問 ①教育の一環である学校給食の無償化②国民健康保険料の子どもの均等割免除③子どもの入院時食事療養費の助成を求める。

答 ①全保護者を対象とした補助により負担軽減を図っており、現在のところ考えていない②軽減の対象や割合の拡大について特別区長会から国及び都へ要望書を提出した③子育て世帯の経済的負担軽減のための総合的支援を行っており当面実施する予定はない。

公共住宅と家賃補助の拡充を

問 ①民間マンションを借り上げ、低家賃の公的住宅として提供すること②家賃補助制度を抜本的に拡充することを求める。

答 ①千代田区の公共住宅戸数は23区でも際立って充実している。数を維持し、質を高めていく②助成対象の拡充には多額の財政負担が想定されるため、他自治体の動向を含め慎重に研究していく。



千代田区第二次住宅基本計画

公明党議員団

米田 かずや



障害児の放課後の居場所

問 ①学童クラブの指導員等の配置は②安全な移動手段の確保は③放課後等デイサービスの空きが少ない状況について区の実態は。

答 ①指導員の加配、心理士等専門家の巡回指導を実施。今後も体制強化に努める②徒歩移動は可能な限り指導員が対応③区外の事業所や代替サービスの提案等を行い利用者のニーズに応える。

がん対策、がん教育について

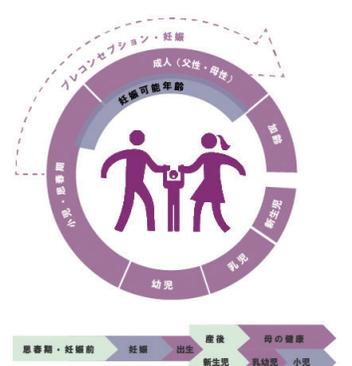
問 ①がん教育の取組みは②外部講師による講演の検討状況は③区施設の男性用個室トイレにもサニタリーボックスを設置すべき。

答 ①小中学校でがん等のリスク要因や予防についての教育を実施。教員はがん教育の研究を進めている②今年度は区立中学・中等教育学校で実施し来年度は全公立学校で実施予定③設置を検討する。

プレコンセプションケア

問 ①区の認識と取組みは②妊孕性^{にんよう}等の検査費用補助の検討は③この視点を取り入れた学校での健康教育の実施について。

答 ①各健診に加えMIW等で相談を実施しており、この中で一層の普及啓発に努める。第二次健康千代田21に関連施策を位置付け推進する②情報収集を行い研究する③妊娠・出産・健康について発達状況に応じて段階的に複数の教科で指導を行っている。



国立成育医療研究センター資料

Q&A

一般質問 (要旨)

議員紹介は
こちらから



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

池田 ともり (自民)



地域防災力の向上について

問 ①防災士の資格取得費用助成制度の成果と課題②災害学生ボランティアの活動体制は③各大学の防災備蓄品の活用は④防災食の考案・研究や区民への紹介を。

答 ①平成30年度から昨年度まで20名に助成。防災士が増えることは地域防災力向上につながる。一方、この4年間は年平均5人の実績で、課題であると認識②区内大学の学生ボランティア育成事業を今後も継続し、支援する③避難施設としての一時開放や物資の提供を求めているが、各大学の対応状況を確認する④防災に関する展示や区民イベント等の様々な機会を捉え、周知を図る。



大串 ひろやす (公明)



みんなで考えよう これからの千代田

問 現在策定中の基本構想は目標年を定めず普遍的なもののみ記述するとした。変化が激しいときに迅速かつ柔軟に対応しサービスを提供するためというが、本当にそうなのか。行政が公共を全て担っていた時代ではない。今は区と区民が共に取り組んでいなくては公共の何事もなし得ない。よって、変化が激しいときだからこそ中長期的なビジョンを区と区民が共有することが重要である。この点、平成20年に作成した「みんなで考えよう これからの千代田」は具体的に課題情報と政策情報を掲載し区民と一緒に区の将来を考えていこうというものであり参考とすべきだ。そこで、基本構想は区と区民が共有できる将来像を描いたものとなるのかを問う。

答 基本構想は移り変わる社会の中でも変わらずに目指すべきものとして、区の方針性や将来像を区民と共有していく。

岩田 かずひと (立民)



神田警察通り整備工事について

問 区民等との協議、計画の検証や説明が不十分と考える。イチョウを残した整備計画への見直しを求める。

答 既存の樹木を残して必要な整備ができない旨を説明してきた。度重なる協議の結果、異なる意見の一致点を見い出せない認識。まちづくりの方向性に沿って、誰もが安全安心に通行できる道路に整備をしていくという考えに変わりはない。

日本テレビ二番町再開発

問 ①オープンハウス型以外の説明会を今後行う考えは②環境悪化等、再開発の課題や懸念事項について区民等への説明は。

答 ①オープンハウス型説明会やアンケート調査等の結果を踏まえ、日本テレビ通り沿道まちづくり協議会で今後の進め方について検討する②引き続き、地域や区議会に意見を伺い、まちづくりを進める。

西岡 めぐみ (自民)



保育施設整備で幼児教育等充実

問 都の待機児童数が300人となり、従来の保育の量より幼児教育等の質向上へシフトした保育政策への転換を図り、STEM教育等、民間企業と協働で子どもが日常的にICTの論理的思考能力や創造力を育めるよう、プログラミング教育や専門性に特化した先端技術が学べる環境整備を。児童発達支援、土日保育、語学や知育と運動の複合型学童保育事業を展開する等、年間約1700時間を学童保育施設で過ごす子ども達のために、第二の生活の場として、事業計画を改善すべき。

答 事業計画上の保育需要と実績が乖離し始めており、ご提案のような保育の質向上策を練り、方向性を今後示す予定。

東京都 待機児童数の推移

年	待機児童数	対前年比
2016	8466人	652人
2017	8586人	120人
2018	5414人	△3172人
2019	3690人	△1724人
2020	2343人	△1347人
2021	969人	△1374人
2022	300人	△669人

出典(参考):東京都福祉保健局少子社会対策部保育支援課

牛尾 こうじろう (共産)



ボール遊びができる公園拡充を

問 ①恒常的にボール遊びができる場の確保の検討を②ボール遊びの要望への対応等について「子どもの遊び場推進会議」で十分に議論することを求める。

答 ①区内の小規模な公園では遊び方に一定のマネジメントが必要。民間広場等の活用並びに公園・児童遊園整備方針の改定の中で課題として検討していく②今後も同会議にて十分に議論を進める。

コロナ禍での保育園への支援

問 保育士等の職員が陽性となり保育現場が大変な状況となったときの区の対応は。

答 人材派遣や保育支援員等の活用により人員体制を整え、保育業務を止めることのないよう努めている。さらに大きな支障を来すおそれがある場合は、他園からの一時的な応援派遣のみならず、子ども支援課等の庁内在籍の保育士・看護師を派遣しバックアップ体制を取る。

飯島 和子 (共産)



生活保護の周知と相談体制改善

問 生活保護は基本的人権に基づく権利として、制度の周知と相談者に寄り添った窓口対応が必要①区民一般向けの生活保護のしおりの改善に向けた検討状況は②担当窓口に精神保健福祉士有資格者を配置して合理的配慮に基づく対応を。

答 ①掲載内容等、作成にあたっての課題を整理中②個別の職員だけでなく、事案に応じて、障害者福祉課や保健所、関係機関が連携して組織横断的に柔軟に対応。

補聴器問題と骨密度の節目測定

問 ①補聴器購入の助成額拡充を②骨密度測定を節目検診として行うことを求める。

答 ①平成24年度から補聴器購入に対する費用の一部助成を行っており、現在は限度額も倍増しているため、拡充は考えていない②40歳から70歳の女性に対し、次年度より乳がん検診案内に骨密度測定案内も同封して周知を図る。

Q&A

一般質問 (要旨)

議員紹介は
こちらから



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

長谷川 みえこ (紡ぐ会)



児童生徒への特別支援教育体制

問 子どもの発達には差があり、知的に問題がなくても、読み書きが困難な症状であることも考えられる。教育現場において、児童・生徒の困り事を早期発見し、支援に繋げる体制は構築されているか。

答 学校、園に心理・医療等の専門家である巡回アドバイザーを派遣し、専門的な見地から助言を行い、学校、園全体で適切な指導、必要な支援が実施できるような体制を整えている。

子どもたちの心と体を守る教育

問 子どもたちが、増え続ける虐待・性的被害に巻き込まれないよう、男女に関わらず年齢に応じた人権教育とともに、成長段階に応じた性教育も必要では。

答 各学校において、発達段階に応じた正しい知識の理解を促し、学校全体で共通理解を図りながら性教育を実施している。

小野 なりこ (都ファ)



文化芸術の振興と事業助成

問 ①子どもたちのための創作活動や成果発表の支援策を②文化事業助成制度の補助のあり方について。

答 ①文化芸術に親しみ創作活動や成果発表する機会の提供を各施設と連携し取り組む②3回補助を受けた事業で区の課題解決に効果の高い活動の取組支援を検討。

障害者就労と共生社会の促進

問 ①先端技術を活用し新たな就労機会を示しては②インクルーシブ社会に向けて子どもたちの理解促進となる施策検討を。

答 ①ノウハウを持つ企業との連携を検討。ソーシャルファーム認定事業者拡大に努める②子ども部、関係部局と連携する。

「ソーシャルファーム」とは
自律的な経済活動を行いながら、就労に困難を抱える方が、必要なサポートを受け、他の従業員と共に働いている社会的企業のこと



分身ロボット OriHime を介して仕事をするパイロット (港区役所内 福祉売店)

林 則行 (自民)

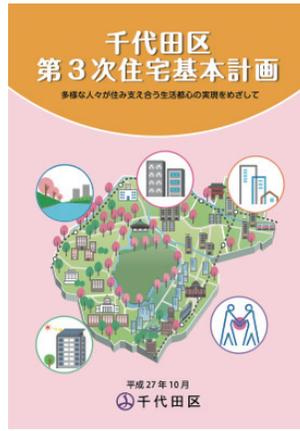
(自民)



マンション管理の適正化の今後

問 国が定めたマンション管理の適正化の推進を図るための基本的な方針に基づき、区は適正化推進計画の策定や計画認定制度の構築が求められる。検討状況は。

答 区のマンション管理適正化推進計画策定に向けて取り組んでいる。



千代田区第3次住宅基本計画

緊急一時避難施設の地下鉄5駅

問 都は都営地下鉄と東京メトロの駅を緊急一時避難施設に指定した。区内には指定された駅があるが、区の役割は何か。

答 必要に応じて都と連携して周知等を行う場合もある。運用面は施設側の任意とされ、現状は都の指定のみにとどまっている。

大坂 隆洋 (自民)

(自民)



地域コミュニティの支援

問 コロナ禍により、地域のコミュニティ活動は制限を受け、各町会が抱える課題にも変化がみられる。出張所を通じた情報収集の強化や、休止した地域イベント復活のための支援等が必要では。

答 コロナと共存する、これからの地域イベント等の方策は、試行錯誤ではあるが、出張所が中心となり、地域の情報を収集し、ニーズに沿った支援を行っていく。

千代田区民体育大会の今後

問 区民体育大会は、ここ数年天候不良等で開催できていないが①これまで積み重ねてきた成果は②今後の体育大会の見直しについての検討状況と区の見解は。

答 ①イベントにとどまらず、地域コミュニティ醸成に成果を上げてきたとの認識②検討会を3回実施し、今年度中に見直しの方向性について取りまとめている。

小枝 すみ子 (声)

(声)



商店街の現状とまちづくり

問 ①コロナ緊急事態宣言以後、区内商店街の実態把握は②商店街で進むマンション計画を行政内部で情報共有し、関係者の対話の場を早期に設定し、紛争回避を。

答 ①商店街会員数や課題、中小の倒産や休廃業の動向等も調査している②工事に先立ち近隣への周知徹底を図っている。



コロナ禍での教育実態と代替策

問 ①中止・縮小せざるを得なかったカリキュラムの把握と、代替策は②保護者や子どもたちの格差や不安への取り組みは。

答 ①教育課程変更届で把握し、宿泊行事の代替に借り上げ遊戯施設での集団行動等を実施②授業を配信し家庭学習を充実。

本会議の傍聴はインターネットでも!

インターネット中継

千代田区議会HPの「インターネット中継」で本会議の生中継及び録画視聴が可能です。右の2次元コードや区議会HPからご覧ください。



文字(字幕)配信

インターネット中継の音声が届かない方のために本会議を文字で生中継しています。右の2次元コードや区議会HPからご覧ください。



予算・決算特別委員会

付託された3議案の審査経過及び結果は次のとおりです。

「令和4年度千代田区一般会計補正予算第1号」は、「学校給食費補助」、「ベビーシッター利用支援事業」、「子ども発達支援」、「感染症予防・医療対策」、「新型コロナウイルス対策」及び「公園・児童遊園の整備」に関する経費を追加計上するものです。

「令和4年度千代田区一般会計補正予算第2号」は、「電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金」に要する経費を追加計上するものです。

質疑を終了し、採決の結果、いずれも賛成全員により可決すべきものと決定しました。

〈討論〉

【賛成の意見】

物価高騰がさらに続き、区民の暮らし、子育て、事業者、学校、保育園、福祉の現場等に大きな影響を与えることが予想される。区が今後も必要に応じて補正予算を組み込み、区民の暮らし、事業者を支えることを求め、賛成する。(牛尾)

「令和3年度千代田区各会計歳入歳出決算の認定について」は、多岐にわたる分野の調査が必要なことから、企画総務、地域文教、保健福祉の3つの分科会を設置し、詳細な調査を行いました。その後、多数の事項の質疑が行われ、総括質疑、討論に入り、次のような意見がありました。

〈討論〉

【反対の意見】

評価できる事業もあったが、公共住宅や家賃補助拡充を求める切実な声に応えず、公共住宅入居世帯と非入居世帯との不公平が広がっている。再開発事業や神田警察通り沿道整備等について、住民参加の前提である情報公開と合意形成ルールづくりを求める。国保料の所得割、介護保険の基準額、後期高齢者医療保険料均等割の引上げは認められない。子どもの発達支援の拡充、神田一橋中学校通信教育課程の教育環境充実等、早急な検討と具体化を求め、反対する。(牛尾)

千代田万世会館を現在地に残してほしいという陳情を区議会が趣旨採択した意図を、全く違う形で切り取って利用し、外神田一丁目の再開発等で等価交換を進める手法は、昨今の進め方に公平性、公正性を欠く案件が増えている区に対する区民の不信感を一層強めた。長引くコロナ禍の中で、地域を大切に思う気持ちを受け止め、考えの違いを乗り越えてよりよい時代に向かう区民のテーブルを導き出す力を区に発揮してほしいと願い、反対する。(小枝)

妊産婦の不安や孤立を防ぐため今後も継続的な産前・産後支援が必要。幼児期・学童期の療育は、成人後にも関わる大きな問題で、区民

の声を受け止め、早急な対策・拡充を求める。まちづくりでは、区の参画・協働ガイドラインに沿った区民参画等の検討が必要。今後の工事の見通しが立たない麹町仮住宅の計画が不明瞭で区民の不信感は拭えない。コロナ禍での生活困窮、物価高騰による負担増に対し、財政的余裕のある本区独自の早急な支援を求め、反対する。(長谷川)

行政は究極のサービス業。区民の不便を改善するよう求めても是正しないような答弁や、都合のよい法解釈で開発に突き進む区の姿勢に違和感を覚える。まちづくりは正しく広報し、住民に寄り添いその意見を反映すべき。永田町駅出入口整備は、未だ工事額も負担額も曖昧なままで、周辺住民に意見を求めるべき。麹町仮住宅の住民の引越後に工事を始めるのは単なる工事額・負担額確定の先送りで、暗中模索のこの状態では決算に賛成できない。よって反対する。(岩田)

【賛成の意見】

決算額、執行率とも前年度より低下したが、新型コロナウイルス感染症拡大の継続により事業執行が予定どおり進まなかったほか、一部の事業で予算を過大計上していたことが明らかになった。予算編成時に見積もりが困難であっても、執行にあたって慎重な対応を求める。今年度予算でも力を入れている「ゼロカーボン」の取組みについて、中小企業への支援を通して、強固な財政基盤のもと、この施策を含め着実に推進して執行率向上につながることを期待し、賛成する。(山田)

新型コロナウイルス感染拡大防止策、小規模事業者緊急経営支援事業など、補正予算を組みながら区民の命と生活を守り、中小事業者支援にもつなげた。個別事業ではICT教育の推進、地域福祉計画の改定及び包括的な支援体制の整備、重層的支援体制の整備、就学前プログラムの改定、認知症サポート事業、産後ケアの拡充、HPVワクチンのキャッチアップ接種等を評価する。区独自の物価高騰対策を、機を逸することなく実施するよう要望し、賛成する。(米田)

コロナ禍で変化しやすい社会情勢が続いた昨年度は、補正予算、予備費及び予算流用による対応が多かったことについて意見もあったが、切れ目のない対応を迅速に実施した結果と受け止めている。監査結果では改善すべき点があるものの、歳入と執行について適正との評価であり、財政の健全さ、次年度に向けて所管を超えた連携や調整で区民の暮らしやすさ、地域のつながり、賑わいの実現に向かっていく点も確認できたことから、賛成する。(小野)

コロナ禍により前例のない執行の判断をする際は、透明性、公平性を意識し、適時議会への説明を求める。混乱が予想されたワクチン接種や医療体制の維持支援、中小企業支援等のコロナ対策については評価できるが、適応指導教室につながらない不登校生徒や、親の就労状況を考慮しない障害児支援等、支援が不十分であると議会から指摘があっても見直されていない事業も散見される。制度のはざまにいる当事者の意見を聞き、きめ細かい支援を求め、賛成する。(岩佐)

定期監査で昨年同様の事務執行上の誤りの指摘は、区の内部統制の取組みが徹底されていないことの現れで、区民の大切な税金で事務執行する区に対し、さらなる徹底を求める。埋蔵文化財における包蔵地をはじめ、区民体育大会、マンション管理、神保町地域まちづくり、キャリア教育や教育のあり方、ゼロカーボンの取組み、公営住宅のミスマッチの課題等、精力的な決算審査によって区の前向きな答弁を得た。今後も適正な事務執行による区政推進を求め、賛成する。(西岡)

討論を終了し、採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

定例会 活動報告

常任委員会では、区長提出議案16件を審査しました。
議案の審査経過をご紹介します。
なお、審議結果は10ページをご覧ください。

常任委員会

企画総務委員会

議案14件のうち主な議案の審査経過は以下のとおりです。

「千代田区地区計画の区域内における建築物等の制限に関する条例の一部を改正する条例」は、飯田橋駅西口地区地区計画の変更に伴い同地区地区整備計画における計画地区の区分を追加し、建築物の容積率の最高限度及び最低限度などについて定めるものです。

〈審査経過〉

質疑の中で、計画地に接する早稲田通りや大神宮通りには店舗が集積し、にぎわいのある通りが形成されているが、オープンスペースの不足や見通しの悪い道路、歩道のない道路が存在するなど多くの課題があったことから、まちづくりの検討が行わ

れ、市街地再開発事業や地区計画変更の都市計画手続きが進められたこと。今回の地域に含まれている区有地の権利変換後の区有床について複数の活用案を検討していること。ビル風の影響は今後の詳細設計の中で検討すること。CO₂排出量の削減に取り組むよう指導していくこと等が明らかになりました。

〈討論〉

【反対の意見】

本地区計画案は区有地を組み込んでおり、住民参加と庁内での十分な協議が反映されてしかるべきであるが、まず「地区計画」ありきというような印象を拭えない。国や都の都市開発諸制度に基づく規制緩和、容積率上乘せの根拠が非常に曖昧であることや、ビル風と住環境への悪化の懸念、気候危機対策への影響などを考え、反対する。(木村)

今後の人口減少社会やビル需要の変化の中で、容積緩和で建物を建てることでまちづくりを解決していこうとすることが、まちの魅力を薄めるのではないかという危惧が強くある。子どもたちへ残す建物として、子育て環境をつくるための努力をすることがまずは重大だと思う。このようなまちづくりを進めることを懸念するため、反対する。(小枝)

【賛成の意見】

飯田橋駅周辺については都市開発と連携した交通施設等の検討を進めてきたものであり、今回の地区計画変更部分に係る富士見二丁目3番街区についても、一連の流れの中で整備をしていく必要がある。地域一体としてこれからの飯田橋駅前としてふさわしい整備を行っていく必要があることから、賛成する。(大坂)

その他、「千代田区民住宅条例及び千代田区営住宅条例の一部を改正する条例」等の13議案の審査をしました。

常任委員会

地域文教委員会

議案2件の審査経過は以下のとおりです。

「幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例」は、地方公務員法の一部改正により、定年前再任用短時間勤務制が導入されることに伴い、規定を整備するものです。

また、「**幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例**」は、地方公務員法の一部改正により、幼稚園教育職員が60歳に達した日後における最初の4月1日以後の給料月額の水準等を定めるとともに、定年前再任用短時間勤務制等が導入されることに伴い、規定を整備するものです。

この2議案は関連する内容であるため、一括で説明を受けて審査しました。

定年年齢が令和5年4月から2年に1歳ずつ、60歳から65歳に段階的に引き上げら

れ、令和13年度で経過措置が終了すること。職員が60歳に達した後の最初の4月1日以後、給料月額の7割水準とすること。管理職員である園長や副園長が役職定年により管理職から降任した場合、職員の給料月額は、降任前時点の7割になるよう差額を支給すること。現行の再任用制度を廃止し、定年前再任用短時間制及び暫定再任用制度を導入すること等の説明がありました。

〈審査経過〉

園長や副園長は、基本的には60歳に達した後の最初の4月1日に主任教諭に降任となるが、園の状況によっては、特例としてその職にとどまることもあること。65歳までの再任用勤務は、本人の希望により、フルタイムまたは短時間を選択できること。区立幼稚園及びこども園の8園においては、教職員の年齢や経験のバランスを

取って人員配置しており、教育の質は維持できていると考えていること。経験・知見が豊富な園長や副園長が主任教諭に降任することにより、教職員の中で指導、助言、支援することができるため、教職員全体の質の向上も目指すことができ、子どもたちにもより良い教育活動が展開できると考えていること等が明らかになりました。

その他、私立保育所等への運営補助について、千代田区産業振興基本計画(案)について、新ちよだアーツスクエア基本構想の策定について、(仮称)千代田区教育と文化に関する大綱及び(仮称)千代田区子育て・教育ビジョンについて等の報告がありました。



定例会活動報告

常任委員会

保健福祉委員会

主な報告事項は以下のとおりです。

「居住支援協議会の検討状況について」は、令和3年度から令和4年度にかけて居住支援協議会が開催され、その協議会での検討状況として、千代田区においては住宅確保要配慮者の中で、実態として相談割合の大きい高齢者への支援に焦点を当てて支援策を検討することとしたこと、検討結果として、「相談窓口職員向け手引き」「つなぐシート(千代田区居住支援申込用紙)」「不動産業者向け居住支援事業案内」「区民向け相談窓口案内」を作成、配布すること等が報告されました。

質疑の中で、協議会としては住まいに困っている方、区民の入居を支援するための検討を行っていくが、あわせて、区として困っている区民に寄り添って何ができ

るか前向きに検討していくこと等が確認されました。

「(仮称)神田錦町三丁目施設整備の進捗状況について」は、想定される施設機能及び規模として、令和3年8月の住民説明会で示した案から建物高さ等を変更する案で検討していること、今後、住民説明会を開催し、供用開始を令和8年度に予定していること等が報告されました。

質疑の中で、近隣のマンションの方々とは意見交換会を実施し、丁寧に向き合っ対応していくこと、あわせて、連合町会はじめ地域住民の方々にも説明していくこと等が確認されました。

「指定管理施設に関するモニタリングについて」は、①モニタリング全体の概要②いきいきプラザ一番町の労働環境モニタリング結果③高齢者総合サポートセンター(かがやきプラザ)の労働環境モニタリング結果が報告されました。

質疑の中で、今回の労働環境モニタリングについて、ハラスメントの窓口に関する事項等含め、調査項目の評定内容は、概ね良好であること等が確認されました。

「新型コロナウイルス感染症関連給付金等の支給状況について」は、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金の支給実績及び新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の支給状況について報告されました。

質疑の中で、給付金の支給に限らず、支援が届きにくい方がいた場合には、保健福祉部内の連携をさらに図り、重層的な支援を実施していくこと等が確認されました。

その他、**オミクロン株対応ワクチンの接種、千代田区災害時合同医療救護訓練**について、報告がありました。



特別委員会

環境・まちづくり 特別委員会

「六番町偶数番地地区地区計画」や「外神田一丁目南部地区再開発事業」の陳情審査が行われました。地区計画については、地区計画の素案として取りまとめるために調整を続けていること等、また、再開発事業については、地区計画に係る素案の説明会の資料等を確認しました。

その他、日本テレビ通り沿道まちづくり協議会の開催、飯田橋駅周辺の基盤整備等の報告がありました。

公共施設調査・ 整備特別委員会

当委員会で調査研究する各施設のうち軽井沢少年自然の家については、昨年度の

あり方検討協議会の議論の内容を踏まえて「あり方基本構想策定委員会」を設置し、施設に必要な機能を整理するとともに、施設の整備・運営手法の検討も行い基本構想を取りまとめることや、区立公立学校に通う児童・生徒の保護者へのアンケートや教職員への意見聴取の実施結果の報告がありました。

災害対策・ 危機管理特別委員会

公益財団法人まちみらい千代田が行っている「マンション防災に関する支援」について報告がありました。

マンション防災を地域防災に結びつけて、地域全体の防災に対する意識を高めていくために、管理組合のない賃貸マンション等についての対応が課題であることを確認しました。

その他、個別避難計画作成の進捗状況について報告がありました。

議会のあり方 調査検討特別委員会

前回の当委員会から始まったタブレットの試行使用を予算・決算特別委員会でも試みることとし、現状の課題等を確認したうえで、今後の会議体のペーパーレス化への環境整備の道筋について引き続き調査検討していくこととしました。また、「議会改革」についての勉強会を12月上旬に開催することを決定するとともに、他自治体の子ども議会の視察については引き続き検討することとしました。



可決した決議

岩田かずひと議員の本会議質問 における発言に対する問責決議

令和4年9月21日千代田区議会第3回定例会において、岩田かずひと議員は一般質問の発言の中で、区職員を名指して「地域住民の求めた説明にも一切答えず(中略)逃げ回っていた」、また、職員が記録用に撮影していた行為を「盗撮」と断じたほか、「一企業の金儲けのために区とその企業が協議している」といった趣旨の発言をするなど、公開の場である議場に相応しくない発言を繰り返し、謝罪も発言の取り消しもしませんでした。

同議員はこれまで、区内再開発を巡る問題発言の取り消し(令和元年第4回区議会定例会)や、質問内容の殆どがインターネット動画の転載であることに加えて出所を明示しない(令和3年第4回区議会定例会)など、不適切・不穏当な発言を繰り返しています。

さらに、令和4年第1回区議会定例会において、同議員は一般質問の発言の中で、「区役所は民間につけ込んで再開発事業を食い物にしている。」「今の区、もしくは区職員は業者から何か便宜を凶ってもらっていることはないか。」などの個人的な憶測に基づく発言をし、本会議において「岩田かずひと議員の本会議質問における発言に対する猛省を促す決議」が議決される事態となりました。

しかしながら、同議員の不適切な言動は、再三にわたる注意や決議を経ても全く改善されずに繰り返されています。これは、議会の品位を重んじる義務を定めた会議規則第98条に反するものであり、断じて看過できません。

よって、区議会として岩田かずひと議員に対し、議員に相応しくない発言や行動をやめるよう強く求めるとともに、その責任を問い、厳しく非難するものであります。

以上、決議する。

令和4年10月19日 千代田区議会

【反対の意見】

岩田議員の発言は何ら不適切でも不当でもない。本来議会は、区民の疑問を表現する議員の質問に対し、行政にしっかり答弁させることに力を尽くすべき。言い回しの個性は、発言の自由そのものであり、個

性のない質問ばかりでは、区民代表の議会としてあるべき姿ではない。表現方法の好みで多数決により断定することは、民主主義社会の根底を揺るがすものである。以上のことから本議案に反対する。(長谷川)

議員は住民福祉の向上、地域課題解決等に努める責務があり、そのためにも、議会での発言は尊重され、言論の自由は保障されなければならない。一方で、議場の秩序を乱し品位を落とす発言は厳に慎まなくてはならない。岩田議員の発言を品位に照らして全面的に擁護する立場ではないが、発言の真意が何なのか、弁明の機会が設けられていない。問責決議ではなく、その判断は有権者に委ねるべきであり反対する。(飯島)

【賛成の意見】

本年第1回定例会で岩田議員の本会議での発言に対し、猛省を促す決議が賛成多数で可決された。今定例会の一般質問で、同議員は区の部長を誹謗中傷する言動や区職員が盗撮の犯罪行為を行っているかのような発言を繰り返した。猛省を促す決議可決後も不適切な発言を繰り返す同議員は議員としての資質が大いに疑われる。改めて猛省を求め、不適切な発言を繰り返さず、直ちに止めるよう強く求め、賛成する。(小林た)

本会議における討論

桜井ただし議長に対する不信任決議

否決

【反対の意見】

議長は区議会だより臨時号発行の判断にあたり、各会派の代表者で構成する各派協議会や企画総務委員会正副委員長に諮り、結果的に所管の企画総務委員会の全委員から意見聴取する等、丁寧で適切な手順を積み重ねており、議長権限を大きく逸脱しているとの指摘には全く当たらない。また、臨時号発行中止を求める陳情は否決され、発行について区議会として公式に判断した。以上のことから本議案に反対する。(嶋崎)

区議会だより臨時号発行について、議会運営委員会の陳情審査では全委員が発言し、委員長は臨時号を発行すべきとの意見が多数と集約した。神田警察通り沿道整備について区民に説明責任を果たすことは区議会に課せられた当然の責務。区議会は住民の話し合いと歩み寄りを強く願っているという陳情審査の到達を示し、合意形成の後押しに役立つ紙面づくりが必要である。以上の立場から本議案に反対する。(飯島)

【賛成の意見】

第一に、議会の運営や手続きは全会一致を原則としてきたが、今回の区議会だより臨時号発行について、議長はこれまでの原則を破り、初めて多数決により決めた。第二に、発行の提案が、所管の企画総務委員会ではなく、区議会だより編集委員会であり、発行について所管委員会に諮られなかった。また、議長として所管委員会の合意の確認を怠ったことは重大な手続上のミスである。以上が本議案に賛成の理由。(岩田)

議会 Q & A

Q

討論とは？

A

議題となっている事項が採決される前に、議員が賛成または反対の立場に立って意見を表明することをいいます。

▶ 討論の目的

お互いに議論を交わし合うのではなく、賛否の理由を述べることにより、自分の意見に賛同することを他の議員に求めることにあります。





委員会で取り扱った請願・陳情 (令和4年8月4日～令和4年11月9日)

※詳細は、区議会ホームページでご覧になれます。

請願・陳情名(受付順に掲載)	送付委員会	審査状況(令和4年11月9日時点)
外神田一丁目1、2、3番地市街地再開発事業の再検討を求める陳情	環境・まちづくり特別委員会 (企画総務委員会から送付替え)	継続審査
千代田区外神田一丁目南部地区再開発事業に関する陳情	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
清掃事務所を区のものとして建設するよう求める陳情	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
再開発共同化に係る合意形成のルールを条例として作ることを求めます。	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
外神田一丁目南部地区再開発事業の早期推進を求める陳情	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
千代田区外神田一丁目南部地区再開発事業に関する陳情	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
六番町偶数番地地区の地区計画に関する陳情書	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
外神田一丁目南部地区再開発事業の慎重な調査・再検討を求める陳情	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
外神田一丁目再開発の速やかな都市計画決定を求める陳情	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
外神田のしゃれた街並み条例の指定は保留、見直しをお願いいたします。	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
外神田一丁目再開発計画の再考を求める陳情	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
意向調査の実施に関する陳情	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
外一再開発、法17条手続き検討前のご調査ご議論を求める陳情	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
外神田一丁目南部地区再開発の都市計画早期決定を求める陳情	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
公聴会の開催を求める陳情	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
外神田一丁目再開発における区有財産の取り扱いについて説明会の早期開催を求める陳情	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
外神田一丁目南部地区再開発中止を求める陳情	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
区議会だよりなどの広報紙発行についての陳情	議会運営委員会	審査終了
千代田区外神田一丁目再開発事業の都市計画決定に関する公聴会の開催を求める陳情	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書の提出を求める陳情書	地域文教委員会	審査終了



令和4年第3回定例会 会期日程 (会期:9月13日～10月19日の37日間)

月/日	本会議・委員会関連等日程	月/日	本会議・委員会関連等日程
9/13	議会運営委員会	10/3	予算・決算特別委員会(地域文教分科会)
	本会議(会期の決定・区長招集あいさつ等)		予算・決算特別委員会(保健福祉分科会)
14	議会運営委員会	4	公共施設調査・整備特別委員会
21	議会運営委員会		議会のあり方調査検討特別委員会
		本会議(代表質問・一般質問)	5
22	議会運営委員会	災害対策・危機管理特別委員会	
		本会議(一般質問・議案の付託等)	7
26	予算・決算特別委員会	11	
	企画総務委員会		12
27	地域文教委員会	13	
	保健福祉委員会		保健福祉委員会
28	予算・決算特別委員会	14	地域文教委員会
	議会運営委員会		議会運営委員会
29	本会議(議案の議決等)	17	本会議(議案の付託等)
	予算・決算特別委員会(企画総務分科会)		予算・決算特別委員会
30	予算・決算特別委員会(地域文教分科会)	19	三常任委員会連合審査会
	予算・決算特別委員会(企画総務分科会)		議会運営委員会
	予算・決算特別委員会(保健福祉分科会)		本会議(議案の議決等)



閉会中の主な活動 (7月～9月)

月/日	日程	月/日	日程
7/21	区民集会運営協議会	8/8	千代田区平和使節団 議員派遣(～8/10) 【たかざわ秀行議員 場所:長崎県】
	政務活動費交付額等審査会		
23	千代田区平和使節団 議員派遣(～7/26) 【小林やすお議員 場所:沖縄県、鹿児島県】	9	企画総務委員会 国内行政調査 (第60回東京河川改修促進連盟総会・促進大会)
	25		議会運営委員会
保健福祉委員会		30	企画総務委員会
28	議会運営委員会		保健福祉委員会
	8/1	企画総務委員会	9/1
3		環境・まちづくり特別委員会	
	5	千代田区平和使節団 議員派遣(～8/7) 【大串ひろやす議員 場所:広島県】	6
12		議会運営委員会	



議案の審議結果等 (令和4年第3回定例会)

可(可決) 否(否決)

○(賛成) ×(反対) 欠(欠席) 退(退席) 除(除斥)

議員名等 <small>※議員名の下段は会派名略称</small>	出席者数	投票数	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	議決月日	
						小野 なりこ	岩佐 りょう子	長谷川 みえこ	小枝 すみ子	秋谷 こうき	岩田 かずひと	桜井 ただし	欠員	西岡 めぐみ	飯島 和子	牛尾 こうじろう	木村 正明	大坂 隆洋	池田 ともり	山田 丈夫	欠員	永田 壮一	たかざわ 秀行	米田 かずや	大串 ひろやす	林 則行	嶋崎 秀彦	河合 良郎	小林 やすお	小林 たかや		
議員提出議案	岩田かずひと議員の本会議質問における発言に対する問責決議	20	19	14	5	可	○	○	×	×	○	除	※1		○	×	×	×	○	○	○		○	○	退	退	○	○	○	○	○	10/19
議員提出議案	桜井ただし議長に対する不信任決議	21	20	3	17	否	×	※2	○	○	×	○	除		×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	退	×	×	×	×	10/19	
区長提出議案	令和4年度千代田区一般会計補正予算第1号	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	9/28	
	令和3年度千代田区各会計歳入歳出決算の認定について	22	21	15	6	可	○	○	×	×	○	×			○	×	×	○	○	○			○	○	○	○	○	退	※3	○	10/19	
	千代田区議会議員及び区長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/19
	千代田区人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/28
	職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/28
	職員の懲戒に関する条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/28
	職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/28
	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/28
	公益的法人等への千代田区職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/28
	外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関する条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/28
	千代田区非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/28
	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/28
	職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/28
	千代田区手数料条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/19
	千代田区地区計画の区域内における建築物等の制限に関する条例の一部を改正する条例	23	22	16	6	可	○	○	×	×	○	×			○	×	×	×	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/19
	千代田区民住宅条例及び千代田区営住宅条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/19
	幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/28
幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/28	
令和4年度千代田区一般会計補正予算第2号	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/19	
議員提出議案(撤回)	千代田区学校給食費の助成に関する条例																										9/28 (撤回日)					
報告	令和3年度千代田区健全化判断比率について																										9/22					
	損害賠償請求事件に関し専決処分により和解した件について																										9/22					

※1 議長は採決に加わりません ※2 議長が除斥となり、副議長が議長の職務を行ったため、採決に加わりません ※3 議選監査委員のため退席

◆ 千代田区議会議員 条例定数25名 現員数23名 欠員2名

◇ 会派名 千代田区議会 自由民主党(自民) / 日本共産党区議団(共産) / 公明党議員団(公明) / 千代田を紡ぐ会(紡ぐ会) / ちよだの声(声) / 立憲民主党 新生ちよだ(立民) / 立憲政策フォーラム(立憲) / 都民ファーストの会 千代田区議会(都ファ) / 千代田至誠会(至誠会)

区議会だより 編集委員会の構成 ◎委員長 ○副委員長	◎山田 丈夫(自民) ○河合 良郎(自民)	小野 なりこ(都ファ) 長谷川 みえこ(紡ぐ会) 岩田 かずひと(立民)	西岡 めぐみ(自民) 牛尾 こうじろう(共産) 大坂 隆洋(自民)	池田 ともり(自民) 米田 かずや(公明)
----------------------------------	--------------------------	--	---	--------------------------

 **ホームページアドレス**
<https://gikai-chiyoda-tokyo.jp>

 **メールアドレス**
kugikai@city.chiyoda.lg.jp

 **公式Twitter**
[@Chiyoda_Kugikai](https://twitter.com/Chiyoda_Kugikai)



※音声版(CD)、点字版も作成しています。区内在住でご希望の方は、区議会事務局☎03-5211-4297(直通)までご連絡ください。区議会だよりは区議会ホームページでもご覧になれます。また、区議会の最新情報をお届けする「区議会公式Twitter」も発信していますのでぜひご利用ください。